

経営協議会議事要録（第64回）

日時：平成31年 3月19日(火) 13時00分～14時45分

場所：岩手大学事務局第一会議室

出席者：磯田文雄 委員（名古屋大学アジアサテライトキャンパス学院長）
小野昭男 委員（小野食品(株)代表取締役）
加藤裕一 委員（(一財)岩手経済研究所副理事長）
鎌田英樹 委員（(株)IBC 岩手放送代表取締役社長）
國井秀子 委員（芝浦工業大学大学院工学マネジメント研究科客員教授）
澤藤隆一 委員（一祐会電気電子情報科会東京支部相談役）
新宮由紀子 委員（(株)長島製作所代表取締役社長）
千葉茂樹 委員（岩手県副知事）
岩淵明 委員（学長）
小川智 委員（理事（総務・企画・評価担当）・副学長）
丸山仁 委員（理事（教育・学生担当）・副学長）
菅原悦子 委員（理事（復興・地域創生・男女共同参画担当）・副学長）
佐々木強 委員（理事（財務・労務担当）・事務局長）

陪席者：八代 仁（副学長（総合科学研究科・COC 担当））、喜多一美（副学長（情報統括担当））、阿部 健（監事）、横山英信（人文社会科学部長）、遠藤孝夫（教育学部長）、船崎 健一（理工学部長）、高畑義人（農学部長）、比屋根哲（連合農学研究科長）、佐藤 繁（獣医学研究科長）、晴山 均（総務部長）、野田 潔（学術研究推進部長）、早川浩之（地域連携推進部長）、菅原 浩（財務部長）、小椋光喜（学務部長）

議事に先立ち、前回議事要録について原案を一部修正し確定することとした。

議 題

1．国立大学法人岩手大学学則等の一部改正について

学長から、国立大学法人岩手大学学則等の一部改正について諮る旨が述べられ、次いで、丸山理事・副学長から、資料に基づき改正案について説明があり、審議の結果、原案のとおり了承された。

なお、学長から、本件については3月28日開催の教育研究評議会での審議を経て、同日開催の役員会で決定し、平成31年4月から施行する旨の付言があった。

2．平成31年度国立大学法人岩手大学年度計画について

学長から、平成31年度国立大学法人岩手大学年度計画について諮る旨が述べられ、次いで、小川理事・副学長から、資料に基づき、平成31年度は第3期中期目標期間の中間評価に向けた事業年度と捉え年度計画案を策定したこと、その概要について説明があり、審議の結果、原案のとおり了承された。

なお、学長から、本件については3月28日開催の教育研究評議会での審議を経て、同日開催の役員会で決定し、3月31日までに文部科学省へ提出する旨の付言があった。

3. 国立大学法人岩手大学平成31年度予算案について

学長から、国立大学法人岩手大学平成31年度予算案について諮る旨が述べられ、次いで、佐々木理事・事務局長から、資料に基づき、前回の経営協議会で了承いただいた平成31年度予算編成方針を踏まえて、平成31年度予算案を作成したことが述べられた。また、佐々木理事・事務局長から、平成31年度予算案について、一般会計の収入予算10,101,778千円に対する支出予算10,101,778千円の内訳として人件費、学長裁量経費、基礎的経費、予備費、事業経費について説明があり、さらに、特別会計の収入及び支出として1,336,244千円を計上したこと、一般会計・特別会計の合計額として岩手大学平成31年度予算総額は11,438,022千円であることの説明があった。審議の結果、国立大学法人岩手大学平成31年度予算案について、原案のとおり了承された。

なお、学長から、本件については3月28日開催の役員会で決定する旨の付言があった。

4. その他

なし

報 告

1. 学務関係等報告について

丸山理事・副学長から、資料に基づき、学生の課外活動、及び、平成31年度入試の実施状況(学部・大学院)について報告があった。

2. その他

佐々木理事・事務局長から、第65回経営協議会(紙上会議)を今月中に開催することの報告があり、その審議内容について説明があった。

意見交換テーマ：「岩手大学への期待」

学長から、意見交換テーマの設定趣旨について説明があり、忌憚のないご意見を賜りたい旨が述べられた。

次いで、佐々木理事・事務局長から、意見交換資料1「国立大学改革方針について」(国立大学協会総会資料：3月14日)、意見交換資料2「18歳人口の減少を踏まえた高等教育機関の規模や地域配置」(文部科学省高等教育局作成資料：3月18日)等に基づき具体的な説明があり、その後、自由に意見交換がなされた。

学長から、本日のご意見を今後の大学運営の参考にさせていただくこと、次回以降にも大学を取り巻く状況について報告させていただくことが述べられた。